

なか/べつ

# 農協だより



第98号

昭和58年2月

発行 中標津町農業協同組合  
編集 営 農 部  
印刷 アート印刷株式会社



2



# 牛の将来は

## 初期育成で

良い牛、儲かる牛づくりを学ぼうと一月十八日、農協の大会議室に江別の町村農場に勤務されている、倉上英夫氏をお招き

して「良い牛をつくる為の育成技術」と題して一五〇名近い出席者のもとに講演会を行いました。

熱弁を振る 倉上英夫氏



をつくりあげた人で、今回の講演の中でも儲かる酪農経営をする為には共進会に勝つような牛をつくる事ではなく、長命、連産性があり、いかに乳を出すか、こういう牛群をつくっていく事が儲かる酪農につながる秘訣であると話していました。

しかもこの牛群においては能力は全て平均的なものであって、乳量においては最高の牛と最低の牛の間に大きな差のあるものでなく、脂肪においても四%なら全牛四%に近い平均でなければならぬと語っていました。

体型は種雄牛を変える事により直す事は出来るが、能力は母系のもっている遺伝的な力が大きく、導入された基礎牛を正しい選抜、淘汰をくり返し、いかに傘型に広げていくかにあり、自分で使いこなせる迄に最低でも三代はかかるとの事でありました。

さらにこういう牛群をつくっていく為には、乳牛の分娩直後から八カ月までの管理が一番大切で、この間にその牛の将来が決まるといわれ、良い牛をつ

会場内には親子で、また奥さんと同伴という人が多く、耳をかたむけてはうなずく姿が多くみられました。

倉上先生は町村農場では乳牛の改良と繁殖、それに哺育、育成を主に担当せられ、今日、日本一といわれるすばらしい牛群

をつくりあげた人で、今回の講演の中でも儲かる酪農経営をする為には共進会に勝つような牛をつくる事ではなく、長命、連産性があり、いかに乳を出すか、こういう牛群をつくっていく事が儲かる酪農につながる秘訣であると話していました。

る秘訣としては、さらに牛を良く観察する事、そしてそれを記録する事、学んだり聞いたりした事で良いと思う事は即実行にうつし、習慣としてしまう事が大切な事だと語られました。また牛の選抜、淘汰については「体型上による淘汰は絶対にありえず全て能力によってのみ行う」と話しておられました。当組合では二九四戸が乳牛を飼養していますが、それぞれ飼養管理が異なります。中には知識をもって立派な管理をしている人も少なくありませんが、大半の人達は奥さんや子供さんにまかせっぱなしにして、立派とは言いがたい管理をしている人がみられます。何処かで一線を引けるような育成技術という

### 抗菌性物質 残留検査 の有料化 について

表記の件について、従来雪印乳業中標津工場に検査を依頼し、無料で行っていましたが、四月一日からは一検体当たり一〇〇円かかり個人負担となります。

検査方法は従来通りです。

ことので今回の講習会を開いたのですが、会場を見まわした所、出席されているほとんどの人は、それぞれの育成技術をもって管理している人が多く、飼養管理に問題点をもち、ぜひ聞いて欲しいと思った人達の参加が少ないうに思い、こと志と若干異なつた講習会となり残念に思いました。

農協としては、今後毎年、何等かの形でこのような講習会を行いたいと考えております。青年部、婦人部と、多数の方の参加をのぞみます。

農産物輸入自由化・枠拡大阻止全国大会

日本の農業を守れ

自由化は 反対 と 大会盛上る

犠牲になるのはもういやだ」と農畜産物輸入自由化、枠拡大阻止全国農林漁業者総決起大会が、一月十二日、東京武道館で開かれた。九百万を越す署名を背後に開かれた大会だけに、会場内は熱気に包まれた。当農協からは、児玉組合長が参加すると共に、昨年暮れ、組合員及び関係団体から二千五百強の署名を頂き、全国大会の力となった。

大会では、政府に対して次の内容で大会要請を行った。●要請内容 わが国政府は、日米農産物交渉における米国側の執拗な市場開放要求に対し、昨年暮れ非かんきつ果汁等六品目の輸入枠拡大とたばこ、チョコレート、ビスケット等関税の大幅引き下げを決定した。しかも、関税引き下げに際しとられた政府方針の決定経過は極めて高圧的なもの

であり、その姿勢に重大な危惧を憶えるものである。かかる事態は、農畜産物輸入自由化、枠拡大阻止を切に希求する全国の農林漁業者の期待をうらぎるものであり、誠に遺憾である。加えて、米国政府はこのたびの総理訪米に向けて牛肉、オレンジ、かんきつ果汁の輸入自由化に「具体的な前進」を強硬にせまっている。わが国政府がかかる要求に屈することがあれば日本の畜産、果樹農業のみならずわが国農林漁業全体を崩壊に導くことは必至であり、わ

れわれは断じて容認できない。よって政府並びに国会は、わが国農林漁業を守り国民食料の安定確保を期するため、農産物の輸入自由化、枠拡大を断固阻止するよう強く要請する。以上要請内容となっていますが、詳しくは農業新聞等で報道されています。



農業協同組合員

農協を 綱領の意味は

語る

ろ

わが国の農業協同組合の組合員は「組合員綱領」をもっています。綱領という堅苦しくありませんが、組合の成員としての行動基準を示したものです。この綱領は、昭和二十六年十一月一日に開かれた、第四回全国農協代表者会議で決議されたものです。

わが国の農業協同組合の組合員は「組合員綱領」をもっています。綱領という堅苦しくありませんが、組合の成員としての行動基準を示したものです。この綱領は、昭和二十六年十一月一日に開かれた、第四回全国農協代表者会議で決議されたものです。

急速に全国各地に設立され、諸外国の協同組合関係者も驚くほどの結果をもたらしました。時代は、敗戦後の混乱期にあり、農業協同組合は経営困難に陥り、貯金の支払い制限や停止をする組合が次々に現われました。

このように、新生の農業協同組合は制度上では戦時統制機関であった農業会とはまったく異なる民主的な組織として誕生したのですが、実態は組織の推進者も取扱物資も農業会とまったく変わるところがなかったのです。つまり、組織の形は変わったのですが、組織の中にいる人たちの考え方や行動は、農業会時代と変わらなかつたのです。人の考え方や行動は、一朝一夕に簡単に変わるものではないため、こうした矛盾があらわれてきたのです。この矛盾を克服して、組合運営の基盤を確かなものと

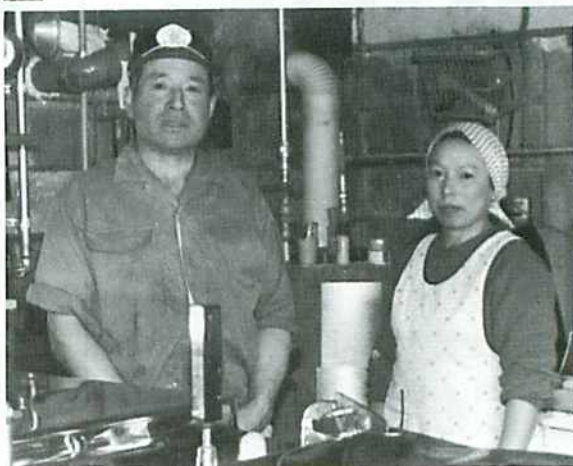
するためにには組合員に組合意識を目指してもらう以外に方法はないとの結論に達したのです。「農業協同組合員綱領」は、このような条件のもとで、組合員意識の昂揚をはかることを目的としてつくられたのです。組合員綱領は五項目からなっていますが、その意味するところは次号で紹介しましょう。

## 乳質改善優良事例

## 乳房炎の発生を防ぐ事が第1

その7 最終回

北光房川喜清牧場



今回は第二俣落地区の房川さんをご紹介します。

成牛二十六頭を房川さんと長男の喜洋さんの二人で搾乳し、昨年はレサズリン検査オール〇と立派な成績をあげています。

乳質といえば乳房炎とすぐ頭に浮かぶほど深い関係があり一番気になる事で、房川さんの発生状況をうかがってみました。搾乳の間を通じてほとんどなく、搾乳の時前搾り等であやしいものはP.L.テストで検査し、乳房

炎と判断した牛は乳房炎軟膏による治療をし、完治するまで手搾りをするのでミルクカーからの乳房炎の伝染は絶対ない。又、抗生物質を使った牛はペンキで×印をつけ、他の人でもすぐわかるようにしています。ミルクカーの洗浄も一週間に二回は分解掃除をし、処理室は整理整頓されています。牛乳濾過紙を二カ所で使用するなど、きめ細かな配慮が良質乳出荷の決め手のようです。

## 生活講座⑭

## 冬の健康

## 暮らし方の工夫

北根室地区農業改良普及所

## ●かぜに注意

冬に多いかぜの原因は、ウイルスによるものです。

この病原菌は、三三℃前後の温度でよく増殖します。私達の鼻は増殖に最も適した温度なのです。空気を媒体として人から人へとうつりますから、しめきつた室内での汚れた空気の中では、ウイルス活動のもつてこの環境となります。

また、湯ざめ、寝冷え、夜ふかしなどをすると、病原菌に対する体の抵抗力が弱まります。かぜを引くきっかけをできるだけ作らないこと、かぜも他の病気に同様軽い症状(体がだるい、熱っぽい、のどが痛い)のうち、に手当てすることが大切です。

これらの初期症状が現われた

ら体を温め、ゆつくり床に着くこと、のどの痛みには、薄い番茶や塩水でうがいをする

こと、十分な休養と栄養をとることが大切です。

## ●暖房の心がけ

暖房の温度は人さままでですが、目安は、子供なら二〇℃、老人、赤ちゃんは二四℃が目安です。必要以上に室内を暖めるのは、健康上、省エネ上、好ましくありません。

また暖かい空気は軽くなり天井に集まり、冷えた空気は重く床面に集まりますので、床を中心に生活している私達には、頭が熱く、足元が寒いこととなります。サーキュレーターや扇風機を使って天井に集まっている暖かい空気を床面に降下させる

## ●快適な湿度

乾いた空気は、鼻、のど、気管、肺などの粘膜を痛めます。快適に生活するための湿度は、六〇%位です。専用の加湿器もありますが、草花の鉢物を置いたり、洗たく物を干したり、蒸発皿をストーブの上に置くことも適度な湿度を保つ上での工夫です。

## ●換気の必要性

寒い季節は暖房ばかり気がとられ、換気がおろそかになりがちです。私達は酸素を吸って炭酸ガスを吐き出しています。ストーブ、湯沸器、ガスコンロなどの燃焼器具も同じく酸素を吸って炭酸ガスを吐き出します。酸素が不足すると不完全燃焼の状態となり、恐ろしい一酸化炭素を発生します。アルミサッシや断熱のしっかりした家は、気密性が高く、空気の入替えはほとんどありません。一時間に一度位窓をあけ新鮮な空気をとり入れましょう。

# 薬草の効用



滋養強壮・  
きり傷・やけどなど

## 薬用部★種子

【薬効】 秋に成熟した種をとり、日干しにしたものを胡麻と呼び、脂肪油（油酸、リノール酸、パルミチン酸、ステアリン酸）五〇パーセント、蛋白質二〇パーセントを含むので、滋養強壮などに用います。黒ゴマをい

つてすりつぶし、ゴマ和えなどにすると、理想的な栄養食品となります。きり傷、さし傷、軽いやけど、皮膚のただれなどには、ゴマ油をぬります。耳に虫が入ったときは、こよりにゴマ油をつけて耳穴に入れると

れます。

無処理区は五・五〜六・〇の間で変動するだけであり、農家二表です。それによると置換性加里が急激に増加し、加里と苦土のバランスが大きく崩れます。

今年廃液散布を予定している人は早めにほ場を選定して事前に必ず土壤診断を行ない散布の可否を確認して下さい。

更に廃液散布ほ場には石灰資材とりん酸資材の散布を十分考慮することです。

五十七年度に普及所が実施した土壤診断点数（中標津地区）は第一表のとおりで、その結果を紹介します。

第一図は更新時における炭カル投入後のPHの推移をみた試験成績です。

無処理区は五・五〜六・〇の間で変動するだけであり、農家

# 営農技術

## 土壤診断結果の活用

—草地更新・でん粉廃液散布時には土壤診断の実施を—

### 北根室地区農業改良普及所

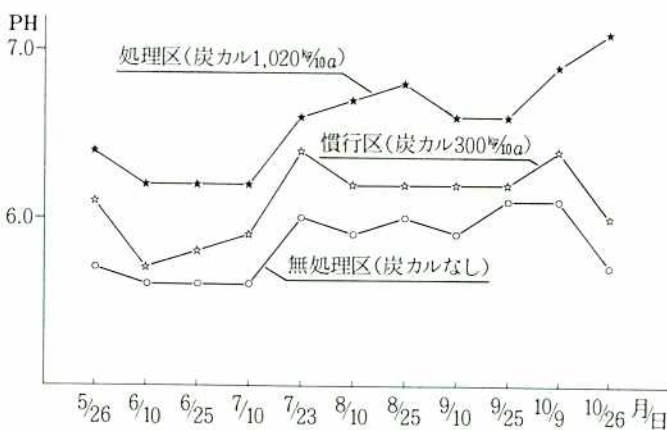
第1表 57年度土壤診断点数 (中標津地区)

作物名	分析サンプル数
牧草	404点
飼料作物	9
てん菜	227
馬鈴薯	261
野菜	15
合計	916

一、草地更新における土改材の算出

草地更新におけるPHの改善目標値は六・五であり、今年度に診断した中で基準値以上のほ場もあつたが、大半は六・〇以下で相当量の石灰資材を必要としています。

第1図 PHの推移



慣行でも六・〇前後までしか矯正されず、六・五まで矯正するには診断に基づく量を投入する必要があります。

二、でん粉廃液散布ほ場における施肥管理

廃液散布ほ場の散布前と散布後の土壤養分の変化をみたのが、第

第2表 でん粉廃液散布による土壌の変化

地点	区分	PH	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>			CaO			MgO			K <sub>2</sub> O			MgO / K <sub>2</sub> O		
			分析値	差	比	分析値	差	比	分析値	差	比	分析値	差	比	分析値	差	比
A	散布前	5.8	46.9		%	262		%	22.8		%	16.0		%	3.3		
	散布後	5.8	61.1	14.2	130	219	△43	84	23.8	1.0	104	70.8	54.8	443	0.8	△2.5	
B	散布前	5.5	32.2			169			15.0			9.0			3.9		
	散布後	5.4	44.5	12.3	138	108	△61	64	16.1	1.1	107	37.6	28.6	418	1.0	△2.9	
C	散布前	5.8	68.7			268			37.1			27.4			3.2		
	散布後	5.4	71.6	2.9	104	125	△143	47	31.6	△5.5	85	73.8	46.4	269	1.0	△2.2	
平均	散布前	5.7	49.3			233			25.0			17.5			3.3		
	散布後	5.4	59.1	9.8	120	151	△82	65	23.8	△1.2	95	60.7	43.2	347	0.9	△2.4	
診断基準値			55~65	20以上		140以上			20~30			18~30			2以上		

米国牛群検定事業視察報告①

DHI事業の協力体制

富田 恵一

昨年の十月十日より二十四日までの二週間に亘り、米国のDHI事業の運営、並びに事業内容を中心として視察する機会を得ることが出来ましたので、概要を報告したいと思います。DHI報、技術情報を酪農家に提供すると考えてよいもので、「酪農経営記録処理情報サービス」と訳す人もいます。



ペンシルバニア州 ロンリースがット牧場にて一参加者一同

米国のDHIの歴史は古く、一九〇五年には既に組織化されていたが、現在のような高度なデータを酪農家に還元出来るようになったのは、世界的なコンピュータメーカーであるIBM社が酪農の分野に進出し、データ処理を可能にしたからであり、それ程古い話

ではない。しかし、数十年の歴史の中で蓄積された膨大な情報を処理出来るようになった恩恵を酪農家が受けるにはそれ程の時間を要さなかったことは、過去四〇年間に、一頭当り平均産乳量の伸びが七九キロに達している事実を上げることでも理解できるだろう。

また現在の米国酪農を支えているのは、コンピュータの解析能力の進歩だけによるのではない。DHI事業の母体は郡のDHI Aであり、ここで出されたデータは全米に九カ所ある計算センターで処理される訳であるが、情報処理の開発にしのぎを削っている一方、各州立大学の農学部にも所属する普及部の指導により、地方の普及員が普及活動を行なっている。普及員の業務として、DHI情報により家畜の栄養指導、施設の改造、新築、糞尿処理システムの設計を行なうほか、乳房炎防止のため、畜舎の衛生管理面のチェックなどの仕事を受けている。大学の普及部は研究者と農家の意志の伝達を図るだけでなく、

DHI組織の運営や情報の利用などに助言をし、協力体制をとっているのである。まさに三味一体の指導体制をとっているのが、もう一つの米国酪農を支えている理由である。

今回はDHIの代表的な情報例を報告したいと思います。  
(北農中央会中標津支所出向)



農協貯金57年12月末  
残高予想クイズ

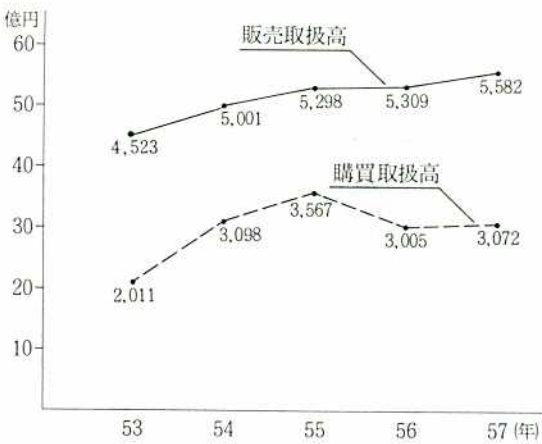
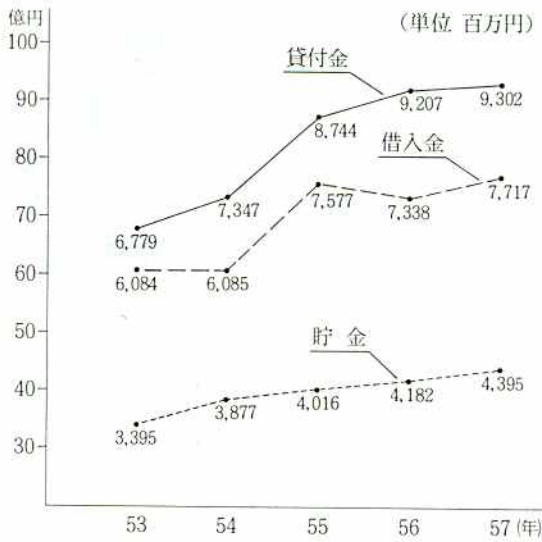
入賞者決定

日頃より農協貯金増成につきましては、格別なるご利用ご協力を賜わり厚くお礼申し上げます。

さて、今回農協貯金十二月末残高予想クイズを実施いたしましたところ多数の応募がありました。一位入賞者の山田良太郎さんは正解に三千五百五十円違いで入賞されました。多数のご応募頂き誠に有りがとうございました。

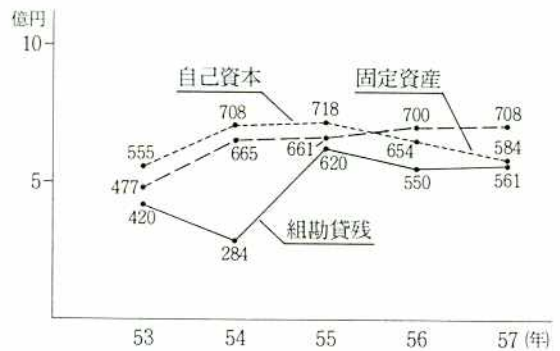
- ⑤ 鈴木 高
  - ⑥ 内山 勲
  - ⑦ 筒井 鈴子
  - ⑧ 森島 民子
  - ⑨ 鈴木 キク
  - ⑩ 筒井 良秋
  - ⑪ 米栖多美子
  - ⑫ 本多 清子
  - ⑬ 乾 かつ枝
  - ⑭ 本多 萌
  - ⑮ 乾 洋
  - ⑯ 高橋 常治
  - ⑰ 高橋 洋子
  - ⑱ 森島 倉雄
- (以上入賞、敬称略)
- 正解、五十七年十二月末農協貯金残高：四、三九五、四〇二千元。
- ※なお入賞されました方には記念品を贈呈致しますので、農協金融係まで申し出下さい。

- ① 山田良太郎
- ② 宮脇 正治
- ③ 宮脇ミツル
- ④ 米栖 久



# 農協財務 12月末の 販売代金 が増加 状況

十二月末の農協財務の主な項目を比較してみました。  
貸付金総額で見ると設備資金等の抑制により増加額は例年より下廻りました。貯金と自己資本は毎年若干ですが増加を続けています。固定資産は新規取得の大きなものがないため減少しています。組助貸残は販代が増加しているにも拘わらず前年より若干多く残りました。購買の取扱いはほぼ横ばいの実績です。



## 新婚さん



拓農 長瀨重樹君・宇田子さん

去年の十二月五日、中標津町寿宴で石崎多門さんご夫妻のご媒約による長瀨重樹君、宇田子さんの結婚祝賀が盛会に行なわれました。二人は、四年前、中標津町農協合理化澱粉工場で臨時職員として勤めていた宇田子さんと、長鈴薯を耕作している重樹君が馬鈴薯出荷の際に初めての出合いとなり、以来三年間の交際でゴールインとなった。宇田子さんは、学校を卒業と同時に三重県の紡績工場で五年間勤め、その間、和裁を習い、更に車の免許を取得など青春を過ごし、その後、郷里の中春別に帰り酪農の手伝いをし、暇を見ては卓球に汗を流すさわやかなお嫁さんです。重樹君は、地域の青年のリーダーとして、農協青年部、青年会などに参加し仲間作りに頑張っている青年です。経営面については、余剰の中で設備投資を考えていきたいと堅実な考えを持っている二人は地域社会に早く根差していく事でしょう。

# 理事會の経過

## 第八回理事会

十一月三十日開催

### 議案

一、昭和五十七年度産澱粉の生産物金融貸付について。

#### (1)貸付額

共計品 一袋三、五五〇円

一般品 一袋三、四〇〇円

(2)貸付金利率 年八・五%

(3)償還方法

澱粉販売代金、又は現金

以上原案どおり決定しました。

二、制度資金の導入について。

自作農維持資金外 九件

融資額 三九、七六〇千円

以上原案どおり決定しました。

三、固定資産の処分について。

(1)バルククレーン 一六台

償却年限経過により残存帳簿価額で貸付先に払下げ処分

(2)人工授精用器具

凍結精液保管器外 使用不能により処分

以上原案どおり決定しました。

### 協議事項

一、乳質ペナルティー金の使途について。

協議結果

ペナルティーを課せられた生産者の乳質改善のために使用されることになりました。

二、バルク更新の対応について。

協議結果

今後バルクの更新は酪農リース事業で対応することとし、器種は土谷に統一を原則とし指導することになりました。

三、十二月末組勘残高の見込と対応について。

四、昭和五十八年度の生乳生産見込と営農計画書の乳量計画について。

協議結果

営農計画書の乳量計画は前年比一〇四％で設定することになりました。

五、団体営草地整備事業の直営施行について。

協議結果

直営で実施を希望する地区の代表と協議することになりました。

### 報告事項

一、自治監査の実施結果について。

二、昭和五十七年度澱粉工場操業終了と実績報告について。

三、第十七回全道農協大会の経過について。

四、石油製品の値上げについて。

五、その他。

## 第九回理事会

十二月二十一日開催

### 議案

一、昭和五十七年度自給飼料生産総合対策事業補助金の近代化資金の貸付について。

(1)貸付先 俵橋高台利用組合

外十八利用組合

(2)貸付金額 六、六四〇千円

以上原案どおり決定しました。

二、近代化資金の借入について。

(1)借入先 北信連

(2)借入額 九、九五〇千円

(3)借入利率 年八・〇%

以上原案どおり決定しました。

三、昭和五十七年度澱粉の販売計画について。

全道共計 二三〇、〇〇〇袋

自主共計 八、六七六袋

合計 二三八、六七六袋

以上原案どおり決定しました。

四、肥料特別対策費の支出について。

(1)特別対策費支出額 六、四〇二千円

支出基準五十六肥Aコープ

(ホクレン取扱金額)の〇・〇一〇四二九%

(2)支出時期及び方法

昭和五十七年十二月二十三

日

クミカン又は、普通口座振込み

協議事項

一、農協の貯蓄研修旅行について。

協議結果

根室管内農協金融推進委員会主催の九州研修旅行の希望者を募るとともに、農協独自で行う研修旅行を企画し取り進めることになりました。

二、役員研修(農協学校)参加について。

協議結果

研修会参加者 藤井理事 鷲見理事 秋山理事、佐藤監事。

三、バルク更新のリース希望と

機械のリース対応について。

協議結果

現在導入希望のあるバルク、機械については承認することとし、今後導入希望がある機械等のリースについてはリースの仕組みを充分検討しながら対応することになりました。

四、農協婦人部創立三十周年記念行事と生活改善について。

協議結果

生活改善についての検討を加えるために農協役員、婦人部、青年部、各部連絡委員会との会合の場を持つことになりました。

五、重点指導農家協議保留者のその後について。

六、昭和五十八年度の営農計画樹立について。

協議結果

営農計画樹立日程 二月五日～二月二十五日

報告事項

一、組合財務状況について。

二、農機具予約購買の推進について。

三、昭和五十七年度の生乳販売状況について。





農協家畜改良課畜産係で今年も採卵用ヒナ鶏の斡旋を行ないます。価格は昨年と同価格で、ハイセックス（白レグ）、エンヤークロス（一代雑種）、赤色ブラウン（赤玉）共に四十日ヒナで一羽六一〇円となっております。例年ですと四十日ヒナだけの取

昭和58年度価格

採卵用	日令		40日	60日	90日	120日	140日	160日
	鶏種	初生						
ハイセックス (白レグ)								
エンヤークロス (一代雑種)	260円	610円	750円	990円	1,230円	1,410円	1,590円	
赤色ブラウン (赤玉)								



旅行相談  
航空券  
乗車券の  
相談は農協へ

農協に旅行相談窓口が出来て一年になりました。組合員の利用も増え、根室管内の中でも利用の多い方になっていきます。旅行の相談、航空券、乗車券の相談を受けますので組合員のご利用をお待ちしています。



【気候概況】  
二月……前半は時々季節風が強まり、寒さの厳しい日があるでしょう。道東では晴天の日が多いでしょう。後半は全般に寒さがやわらぐ見込みです。下旬には発達した低気圧がとおり、荒れもようの日があるでしょう。  
平均気温は平年並かやや低く、降雪量は平年並かやや多いでしょう。  
三月……天気は周期的に変るようになり、春めいてくるでしょう。しかし、月半ばすぎには発達した低気圧が通り、荒れもようの日があるでしょう。その後、一時寒さの戻りがある見込みです。  
平均気温は平年並、降雪量も平年並でしょう。

りまとめでしたが、今年も初生から一六〇日令のヒナ鶏まで斡旋いたします。申し込み希望者は、農事会長、月頃になる予定です。又は農協家畜改良課畜産係の方へ二月二十八日までにお申し込み下さい。尚ヒナの引渡しは五月頃になる予定です。

短歌

農村生活をとおして  
日々の仕事・生活を歌った

光安 江朝子

年の暮熊出ぼつにおどろきぬ我が家近くの舗装路よこぎる  
今年の日めぐりわずが乳牛を飼う吾等にきびし農政なれど  
三色咲き椿の鉢を買いてより毎夜茶の間にこいて直くなり  
純白のとても大きなシクラメン次々咲きて心締めり  
地平線と今元巨の日はのぼる搾乳しつつ手を合せたり  
新春やハットリ君たこやっこだこ糸をたぐれば空とびて行く  
搾乳に行く時冷へのびりびりと体をつたうマイナス十五度  
新春や祖母の元へと孫二人父に連れられ旅立つ朝よ  
札幌を発ちて列車で帰ってくる孫達一人の顔浮かびきぬ

東俣落 岩井 誠子

出産後の出血つづき乳牛のうす赤き乳房の色失せて来ぬ  
固定せる乳牛の頭の綱を解き六リットルの輸血終へたり  
かぶ取りの畑に望める山脈の色合ひ日ごと変はりゆくなり  
雨雲の忍ち低く迫り来て草集めのトラクター速力をあく  
から松の林つきつき出でて来る乳牛の背は黄葉載せたり  
自動車のライトに照らし戻らざる牛をさがせり速度落して  
はぐれ牛は川近き茂みの中なるか車のライトに目が光りたり

おわび ●新年号の短歌で誤植・校正誤りがあり、紙面を借りておわびいたします。

小・中学生の応募をお待ちしております。  
応募者は記念品をとりに来て下さい。

# 間違いさがし



この絵の中には、いくつ間違いがあるでしょうか。間違いを見つけて、その数をハガキに書いて送って下さい。

### 《応募規定》

- ①官製ハガキに答えを書いて送って下さい。
- ②あなたの氏名、年令、住所を書いて下さい。
- ③対象者Ⅱ小、中学生
- ④宛先Ⅱ中標津町東七条南一丁目 中標津町農協組織広報係
- ⑤締切日Ⅱ二月二十日まで

※正解者には記念品を贈呈、正解でなかった人にも参加賞を贈呈しますので多数応募下さい。

※発表は四月号紙面で発表します。

### 《十二月号の当選者》

十二月号の正解は「三つ」下の図の○印)でした。

応募者十七名で、正解者八名でした。正解でなかった人にも参加賞を差し上げますので広報係まで申し出下さい。

### 12月号の間違い箇所



- 正解者は次の通りです。
- 当 幌 阿部 忍ちゃん
  - 開 陽 伊藤 清くん
  - 南 倭 橋 伏見しのぶちゃん
  - 伏 見 浩之くん
  - 三 友 遠野ちゃん
  - 三 友 明日香ちゃん
  - 伊 藤 恵美子ちゃん
  - 後 藤 田由香ちゃん

## おしらせ

**中標津町農協婦人部  
設立三十周年記念大会**

日時★58年2月12日 午前10時  
場所★中標津町公民館

大会内容★  
・記念講演「女性の生き方」  
講師 齊藤 澄 雄氏  
・アトラクション

主催★中標津町農協婦人部

## 1月の 組 合 日 誌

七日 仕事始め

十一日～十二日 農畜産物自由

化、梓拡大阻止、全道、全国大会

十七日 管内組合長、参事合同会議

十八日 道酪对本部委員会、育成牛飼養管理講習会

二十四日 てん菜振興会総会、家畜改良事業団理事会

二十五日 澁粉工業協会銅根支部総会

二十六日 農協婦人部役員会

二十七日 馬鈴薯振興会総会

二十八日 中標津乳牛改良同志会総会

## 表紙写真

表紙写真は、豊岡地区の佐藤厚子さん二十八才です。

厚子さんは、四十八年に農協に勤めた経験のあるお嫁さんで、嫁いで五年という、二人の子供の母親として子育ての真最中。

時には若妻部会の集まりにも参加する事が楽しみと、さんです。

